地下水を利用した

空調、給湯熱源機へのリニューアル



平成20年度エネルギー使用合理化事業者支援事業

(熱源機器改修による省エネルギー事業)



当館の紹介

◆ 北アルプス山麓、鹿島川のほとりに位置した大町温泉郷の中にあり、和風モダンをコンセプトに庭園大浴場、露天風呂等を備えた温泉旅館、創業36年を迎えました。



翠館(新館)

面積2,384㎡(22室) (14室個室露天風呂付) 築:平成16年

茜•紫館(本館)

面積7,052㎡(53室) ホール・宴会場・大浴場 (露天風呂)

築:平成7年

目次

- 1 事業概要
- 2 検討経緯
- 3 システム概要
- 4 事前試算
- 5 実績結果
- 6 3年経過後の評価

1 事業概要

- ◆ 事業名
 - ・平成20年度エネルギー使用合理化事業者支援事業
- ◆ 事業目的
 - ・冷暖房、給湯、浴槽昇温に係る熱源設備の更新
 - ・灯油式ボイラー+吸収式冷温水発生機方式から 井水熱源高効率ヒートポンプ方式への置き換え

◆ 設備概要

・井水熱源 高効率ヒートポンプ

冷暖房·給湯用90HP+60HP

冷暖房用 90HP

給湯加熱用 20HP

貯湯槽 32m³(有効28m³)

汲上井戸 $113m \times 1$ 本 還元井戸 $50m \times 1$ 本

<u>省エネ効果</u>

省エネ率 △20.8% (計画値) 省エネ量 △227kL/年 費用対効果150kL/億円

(1)はじめに



悩み

- ・燃料費の高騰
- ・冷暖房機器の更新時期

関心事

- ・技術革新による機器性能向上
- ・環境への配慮(CO₂削減)

平成19年秋

水熱源ヒートポンプによる 更新を計画(2年間検討)



(2)大町温泉郷の自然環境

夏は涼しく過ごしやすい半面、冬は・・・。

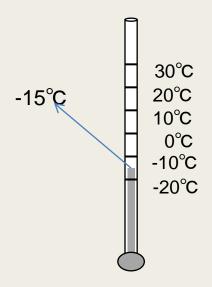
①降雪:

一晩で30cmの積雪

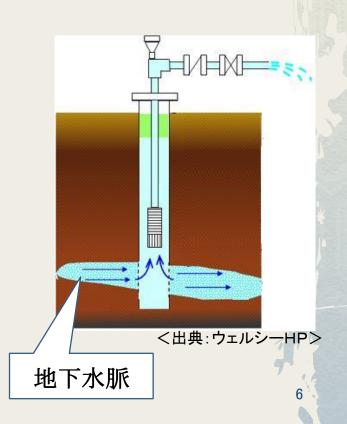
②外気温度:

寒い時は—15℃ になることも・・・





③井水温度: 10~11℃と低め



(3) 必要とするヒートポンプの特性

- ・年間を通し安定した運転が可能
- ・外気温度に左右されない
- デフロストの回避
- ・CO2の大幅な削減が可能
- ・熱回収(熱の有効利用が可能)



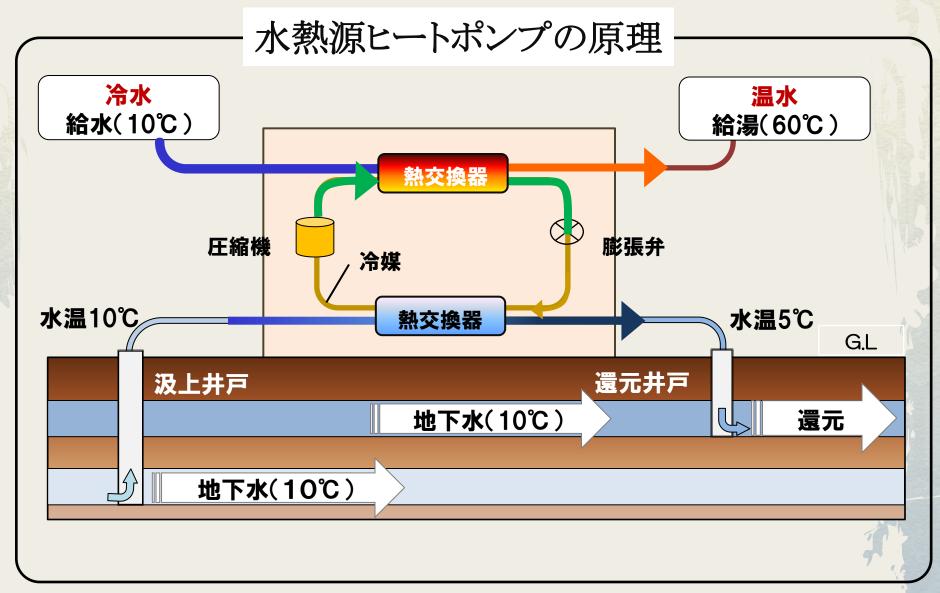
(4)経営面からの検討

- ◆ 工事費用(投資費用)の抑制
 - 投資回収年の詳細と試算
 - ・国、県等の補助金制度活用*中小企業における補助金事業採択の可否
- ◆ 工事期間中も営業を継続
 - ・工事期間の設定(中間期での切替)
 - ・工事範囲を最小限に限定
 - ・客室側の工事が不要(二次側流用)
 - ・熱源機器廻りに工事範囲を限定
- ◆ 投資回収の検討
 - •イニシャルコストとランニングコストの確認

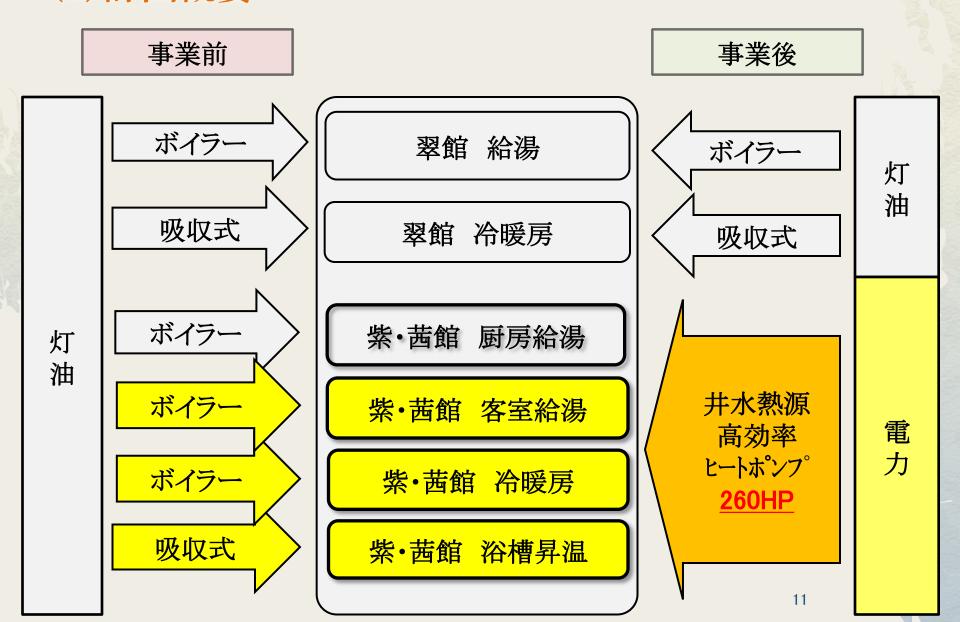
工事実施

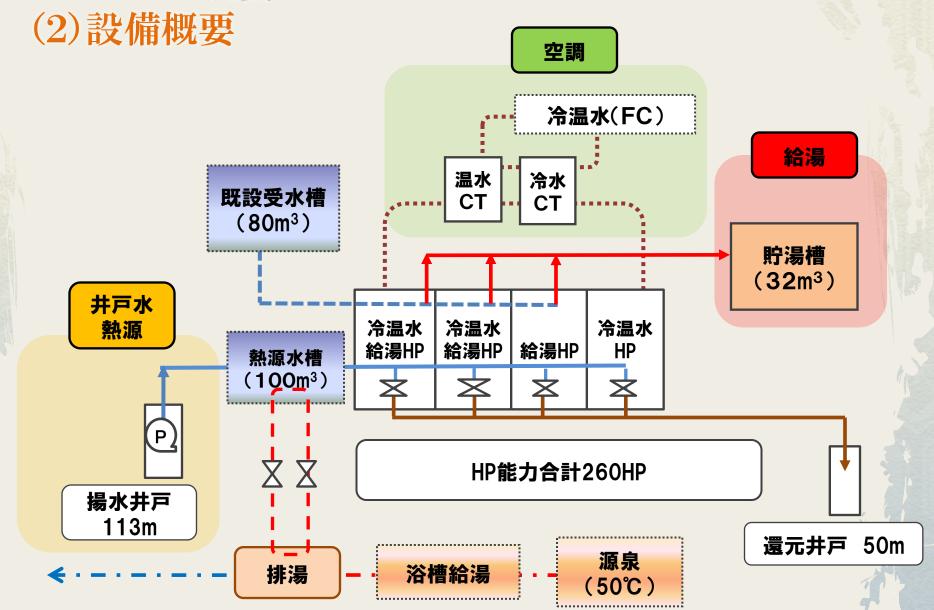
平成20年10月~21年1月 (工事期間約4カ月)

水熱源ヒートポンプによる リニューアルエ事実施

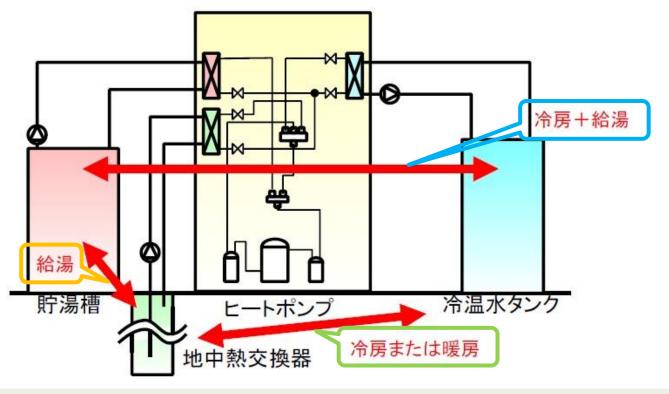


(1)計画概要





冷暖房給湯システム (排熱回収機能付き)



<出典:ゼネラルヒートポンプHP>

3つの運転パターンがあります。

特に「冷房+給湯」運転は、冷房の排熱を給湯として回収する「排熱回収機能」によって行い、この時のCOPは「6.1」と高くなります。

- 3 システム概要
 - (3) 当館採用のヒートポンプ成績係数(COP)
 - ◆当館の必要最大熱負荷: 751,000kcal/h
 - ◆検討結果によるヒートポンプの必要入熱量:166,920kcal/h(=751,000÷4.5)
 - ◆入熱量が少ない理由:

年間平均COP: 4.5

COP:成績係数(出熱/入熱)

暖房運転時平均COP=3.9 冷房運転時(排熱回収運転時)COP=6.1 *冷水を造る運転時の排熱を利用し、給湯を得る事が可能

4 事前試算

省エネルギー事業実施による省エネ試算

▲227kL/年(対前年比▲20.8%)

電力使用量 1,846,000kWh/年 灯油使用量 660,000L/年



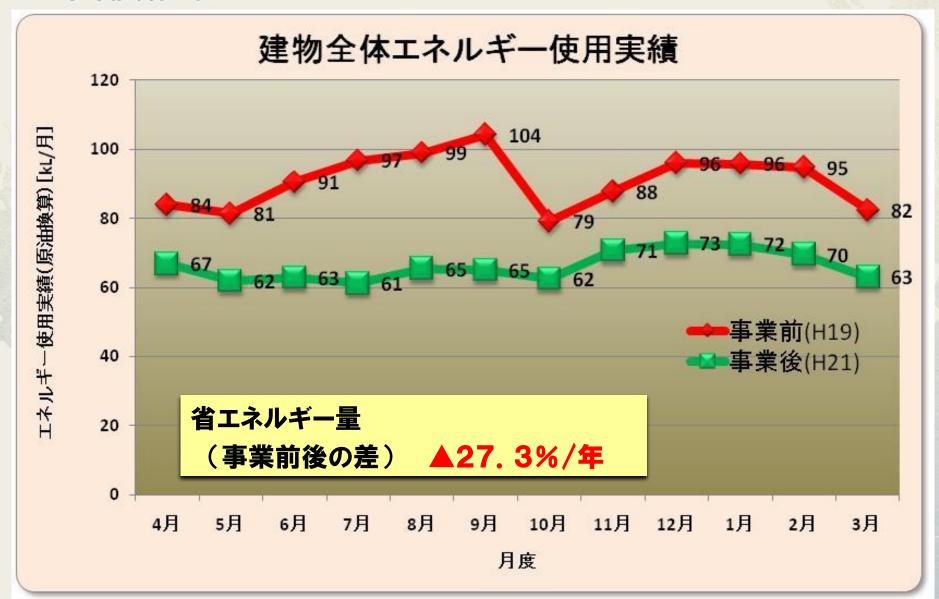
電力使用量 2,612,000kWh/年 灯油使用量 160,000kWh/年 灯油使用量 160,000L/年

環境性の向上 (CO₂削減)試算

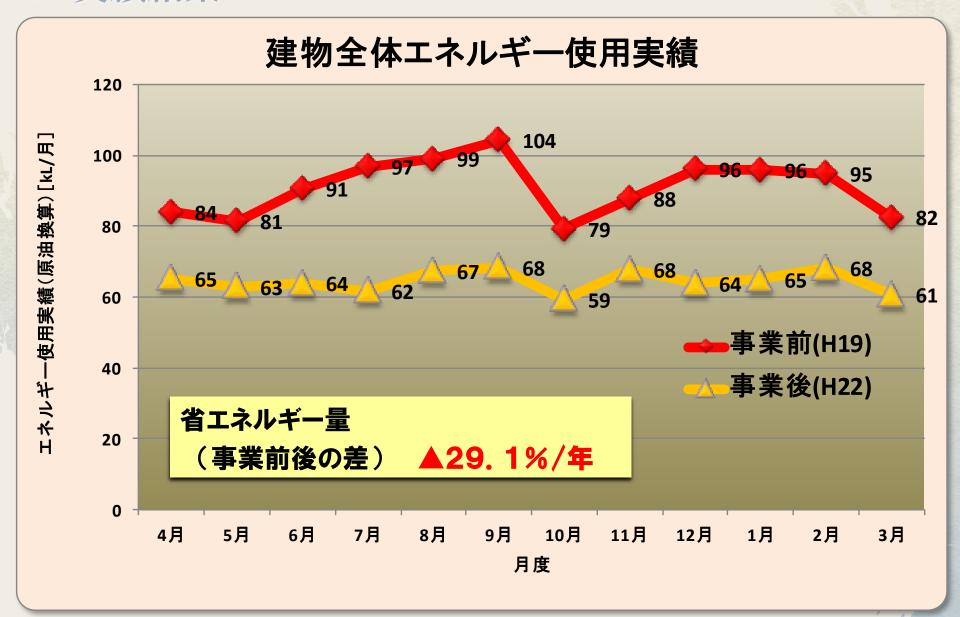
▲749t/年(対前年比▲30%)

補助金事業の活用 設備改修への投資額試算 ▲4,800万円(1/3)削減

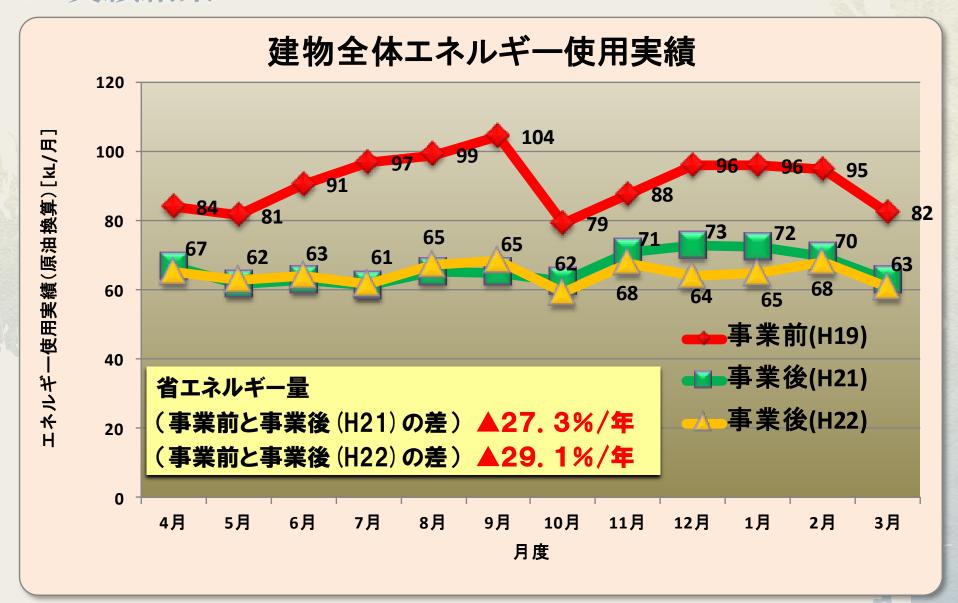
5 実績結果



5 実績結果



5 実績結果



6 3年経過後の評価

(1)運転状況等

- ・平成21年2月に完成し、3年が経過。
- ・初期調整等はあったものの、現在まで順調に運転している。
- ・寒冷地ではあるが、地下水利用のため、季節による熱源機能力の変動はほぼ感じられず、安定した冷温供給がされている。

(2)今後の取り組み

- ・メンテナンス等こまめな管理の継続。
- ・ 導入熱源機の省エネ運転の追求。
- ・節電・節水の更なる推進。
- ・露天風呂の放熱損失等、ロスの削減対策検討。
- ・環境に優しい商品の工夫と提供、ゴミ削減。

ご静聴ありがとうございました。

当館は黒部ダム玄関口で有名な 長野県大町市大町温泉郷にあります。 自然に恵まれた場所にありますので ぜひお越しください。



参考:1日の運転状況を確認(冬季)

